



No.3399

第3717回例会
令和3年10月27日OBIHIRO ROTARY CLUB
DISTRICT 2500

方針「絆」人と人との結びつきを大切に 会長 梅安雅満

2021-22年度国際ロータリーのテーマ 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

■会長報告



梅安 雅満 会長

先日、旭川の医療法人がコロナの影響で倒産いたしました。道内で病院が倒産したのは初めてになります。飲食業や観光業のみならず、色々な業種に影響が出ています。最近では新規感染者も激減していますが、経済再生はまだまだこれからになります。Go To キャンペーンも再開しそうですし、帯広では飲食業を支援するエールチケットやプレミアム商品券、あるいはホテル等を支援する道民割や音更割など、色々なプレミアム商品券が出ていますので、是非これらを利用して経済の活性化に協力していきましょう。

さて、今月は米山月間です。今日のプログラムで讃岐会員から米山についての詳しい説明があります。その説明を聞いた後にはきっと米山の寄付をしたくなるであろうと期待しておりますので宜しくお願い致します。又、米山奨学生のナダ・アラヤスクンさんが本場のタイ料理を会員の皆様に振る舞って皆様方と親睦を深めたいと考えております。詳細は改めてご案内いたしますので多数の参加の程宜しくお願い致します。

■プログラム

(米山記念奨学委員会)



「米山記念奨学会について学ぶ」
RI第2500地区米山記念奨学会運営委員会
讃岐 武史 会員



■米山奨学事業の概要

- 日本のロータリー教員の事業 (日本全国34地区の合同活動)
- 日本で学ぶ外国人留学生の支援 (公益財団法人を設立し運営)
- 賞状クラブ・カウンセラー制度で交流を重視

“心”を伝える奨学制度

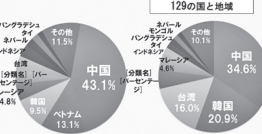
・世話クラブ・カウンセラー制度



一番大切な、人生の生き方と価値観を伝えてくれた。四つのテストは、帰国後も私の心の中に生き続けています。

国内最大級の奨学生数

2021学年度 910人 累計 22,267人



奨学生数の決定と選考

採用基準 (全国統一)

- ・勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- ・家庭状況、経済状況は評価対象外

奨学 の 目的	奨学 の 意欲	人 間 性	シ ョ ン キ ャ ー	地 区 裁 量
---------------	---------------	-------------	----------------------------	------------------

渋沢栄一と米山梅吉



事業のはじまり

- ・1946年 米山梅吉氏逝去
- ・1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- ・1952年 東京RCが事業構想「米山基金」を世界へ (日本の友人を増やし平和を実践する人材を育てる)
- ・1957年 日本全国の組織へ
- ・1967年 財団法人設立

国際ロータリーと米山

- 2002 ロータリー研究会のプログラムに
- 2004 RI「奨学基金」で米山記念奨学事業が承認される
- 2007 ロータリーの多地区合同活動としての手続きを完了
- 2014 国際ロータリーが学友の定義拡大、米山学友も「ロータリー学友」に
- 2016 ソウル国際大会で初の分科会開催

寄付金の状況

寄付金の推移



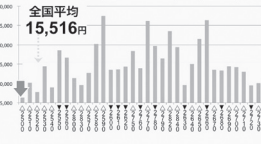
ご寄付は奨学事業に

・寄付はその前年とほぼ同額

収入	寄付金総額: 13億3,684万円	総会金: 124,830円	利子収入: 42,660円
支出	普通寄付金: 419,178円	特別寄付金: 917,660円	奨学金: 1,243,250円
	事業費計: 14億4,700万円	当座正味財産増減額: 13,991円	管理費は支出のわずか3% (43,353円)

寄付実績

個人平均 2500地区



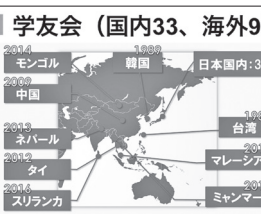
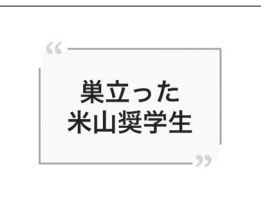
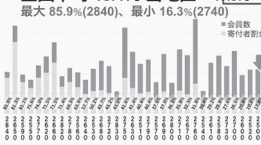
寄付実績

個人平均 2500地区

	当地区	全国平均
個人平均寄付額	6,293円	15,516円
-普通寄付金	2,872円	4,865円
-特別寄付金	3,421円	10,651円

寄付実績

特別寄付者割合



学友会の活動【国内】



学友会の活動【海外】



台湾



マレーシア オンライン進路相談 & 病院へマットレス寄贈



中国・上海 甘肅省の貧しい小学校への教育支援を継続中



タイ 貧困村の子どもへ古着や文具、日用品の寄贈。コロナ支援セット寄贈も。

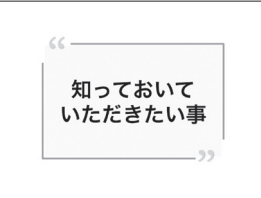


学友からロータリアンに

- ・257人 (台湾: 84人, 韓国: 68人, 中国: 52人, その他: 53人)
- ・ガバナーになった学友: 3人 (林 隆義氏 (韓国) 1997-98年度 RID3650, 許 國文氏 (台湾) 2005-06年度 RID3490, 林 華明氏 (台湾) 2015-16年度 RID3520)
- ・学友が作ったRC: 5つ

恩返し気持ち

- 東日本大震災 約760万円
- 熊本地震 約20万円 (上海)
- 学友からの寄付 累計 3,980万円
- NEW 寄付 200万円
- 熱海土砂災害 約150万円
- ・毎月1万円、毎月2,000円などコツコツ継続寄付する学友も



「再会 in 関東」

- ・2年に1度開催される米山学友の世界大会
- ・2021年6月12日の「出会いin台湾」はコロナのため中止
- ・次は**2023年8月「再会in関東」**(会場:茨城県つくば市)

ぜひご参加ください!

紺綬褒章の公益団体に認定

- ・2018年9月12日以降のご寄付が対象
- ・個人:500万円～
- ・団体/企業:1,000万円～
- ・分納可
- ・(事前の申請が必要)

内閣府ホームページより

認定後初の受章者が誕生!

- ・上野RC(三重県)の丸山純正氏
- ・褒章伝達式では米山記念奨学会の水野 功副理事長から褒状を伝達

2021年7月6日
上野RC会館にて



こんにちは、本日のプログラムはあらためて米山記念奨学事業についてのお話をさせていただきます。私は2008年から地区の米山委員として、早くも13年目になりまして、2500地区では一番長くこの事業に関わって参りました。

たぶん全国34地区でも年数だけは最長老の部類だと思います。この間、2013年から2年間、米山奨学会が財団法人から公益法人移行するタイミングで、当時のロータリー第1ゾーンの代表として、米山記念奨学会選考小委員会の委員を務めさせていただきました。その2年間でやった事は現在使用されている『米山奨学生選考面接官オリエンテーション』用のマニュアル作成です。音声付きのマニュアルの意地悪な面接官の声が私です。その当時は今ほど個人情報保護の観点が重視されておりませんでしたので、それは禁止行為ですよと喚起したところに登場します。興味のある方は私が成り済ます意地悪な面接官の声を聴いてみて下さい。そのような経緯からこの5年間は地区の米山奨学生選考委員長を拝命しており、現在も担当させて頂いております。

今日は折角の機会ですので、奨学会の成り立ちから現在までをさっと説明させていただきます。

公益法人ロータリー米山記念奨学会とは日本34地区のロータリークラブが多地区合同事業として立ち上げた民間奨学団体で、現在年間900名(2021年度は910名)を超える外国人留学生を対象とする民間で国内最大の奨学団体です。2021年7月現在、累計で129ヶ国、22,267名の学生に奨学金給付を行って来ました。奨学金の支給期間は最大2年間(採用時の条件により1年の場合もあり)で、短大、専門学校、大学生の場合が月額10万円、大学院生の場合が月額14万円で返済が不要の奨学金です。(但し45歳未満)他の奨学金と異なることは、奨学生の期間はカウンセラーと呼ばれる世話人が所属するロータリークラブ所属で、奨学金受給期間は、そのクラブのロータリークラブ活動に参加して協力することが求められています。この奨学会の目的は『将来、日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事』だからです。応募方法としては、米山奨学会の指定校からの推薦か、海外からの直接応募、そして最近始まりましたのは、米山奨学生を終了し母国に帰国した米山学友と呼ばれる米山奨学生卒業生が母国で立ち上げた海外学友会が募集選考して送り出された大学院生となります。(現在の海外学友会の年間採用枠は台湾2名、韓国1名です)因みに現在帯広ロータリークラブにお世話頂いております、ナダ・アラヤスクルさんは海外応募者で、私が2年前にスカイプを通じて、英語で面接試験を実施しました。現在工藤大輔会員にカウンセラーをお願いしておりますが、工藤会員は帯広ロータリークラブで17代目のカウンセラーになっております。

さて米山奨学事業とは東京ロータリークラブが周年事業として1952年に提唱した『米山基金』から始まったものですが、この米山とは日本ロータリーの基礎を作った米山梅吉の生前の功績を後世まで残したいとの事でこの名前が使用されました。米山梅吉が行った事業や奉仕活動は数えきれないほどありますので、今回は詳細のお話は省略させていただきますが、渋沢栄一らの明

治政府を金融面から支えた三井組が当時の小野組と共同で発足させた日本で初めての銀行『第一国立銀行』が明治7年に小野組の破綻により、三井組の手を離れ独立しましたが、銀行業務に執着をする三井組が明治9年に設立した日本初の民間銀行『三井銀行』の創立に関わった井上馨に誘われて三井銀行に入行したのが米山梅吉です。前述の通り、米山梅吉は三井銀行常務就任以降三井信託銀行の設立等に関わりましたが、この頃第2次・桂太郎内閣の渋沢栄一と会合を持ち信頼関係を作ったと言われています。その後大正6年に渋沢らの推挙もあり日本帝国政府特派経済委員としてアメリカに渡った梅吉は帰国後、大正9年に日本初のロータリークラブ『東京ロータリークラブ』を設立します。

米山奨学会に話を戻しますが、米山奨学金は全額、毎年の日本のロータリアンからの寄付金と運用利息のみで運用されています。事業費は年間だいたい14億5千万円です。この寄付にはロータリーの会員皆様がクラブに支払う年会費から奨学会へ寄付される普通寄付(帯広ロータリークラブの場合は上期2千円、下期2千円の年額4千円)とロータリークラブの会員が自ら任意で寄付する特別寄付の2種類があります。こちらの寄付金は寄付金控除の対象になっていますので、寄付額の一定額が減税となります。又、米山記念奨学会は2018年に内閣府賞勲局から公益団体認定を受けましたので、個人で累計500万円以上の寄付をすると『紺綬褒章』の授与申請が行われるようになりました。最後になりますが、コロナ感染症対策で外食が控えられている現在、その産業に従事されている方々には申し訳ありませんが、せめて1回分の外食費用を米山奨学会にご寄付頂けますようお願いいたします。

■委員会報告

・ニコニコ献金

(親睦活動委員会)

讃岐 武史 会員

ロータリー米山月間に、お話をさせて頂く機会を頂戴いたしましてありがとうございます。ご寄付もよろしくお願い致します。

田守 由宗 会員

1番テーブル100%出席になりました。ありがとうございました。

三井 真 会員

十勝に3年連続でワイナリーができ、先週末、4社の飲み比べをしました。

■会務報告

五十嵐聖二 幹事

①帯広RC、11月3日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。

②帯広RC、健康診断開催のご案内

日 時 11月17日(水)午前11時30分(例会前)

場 所 ホテル日航ノースランド帯広 フィオーレ

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 10月28日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

④帯広北RC、10月29日(金)の例会は、休会と致します。

⑤帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月15日(月)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

■出席報告

(出席委員会)

10/27例会の報告

会員総数90名 内免除会員3名

出席者数53名 内出席免除会員0名 うちZoom6名

出席率60.9%

■次月プログラム予定

11月 3日(水)「休会」 ※文化の日

11月10日(水)「ロータリー財団を学ぶ」(ロータリー財団委員会)

RI第2500地区ロータリー財団委員長

パストガバナー 成瀬 則之 様(網走RC)



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 関山 岳大・副委員長 / 佐藤 真康・和田 賢二

委 員 / 石神 美代・奥田 潔・竹森 直義・野村 一仁・森 光弘

●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033